

当日いただいた主な質問についてのご回答

Q：株主優待について教えてください。

A：株主優待は現在のところ導入しておりません。近年、株主優待を実施している企業が減っていることも踏まえつつ、当社にとっての必要性をよく吟味し、まず IR 活動を着実に行ったうえで、改めて導入の是非について検討したいと考えております。

Q：人材確保のための工夫や、技術力維持のためのスキルアップについて教えてください。

A：当社では、中長期的に事業を展開していくにあたり、「求められる人材像」を定め、採用活動と人材育成を実施しています。

採用活動においては、様々な人材情報サービスを活用するとともに、より深く当社の事業を理解してもらい、採用後のミスマッチによる離職を防止するために積極的にインターンシップを実施していることに加え、社員等の友人知人を紹介してもらいリファラル採用も促進しております。人事制度については、本人の希望と適性を踏まえたキャリアパスを実現するために、マネジメントコースとスペシャリストコースの2つのコースを設定するとともに、成果に応じたメリハリのある処遇の設定や適材適所な人材配置が出来る仕組みを構築するなど、働き甲斐と魅力ある職場づくりにも取り組んでおります。

人材育成については、新入社員研修に始まり、昇格時の昇格者研修や、公平かつ的確な評価を実現するための評価者研修など、階層別の研修プログラムを実施するとともに、次世代リーダー研修など、経営幹部人材の早期育成にも力を入れております。

加えて、各部門において「強化すべき技術力」を洗い出し、スキルアップ・多機能化に向けた育成計画に則って、国家資格等の取得支援、現場人材の育成に特化した外部講師による研修、eラーニングシステムによる安全教育などに取り組んでおります。この育成計画については、社長を委員長とし各部門の管理責任者で構成する品質マネジメント会議において、「社員が育成計画の主旨を理解でき積極的な行動を起こさせるものになっているか」、「自由闊達に意見を述べられる環境になっているか」「計画実行後の成果の検証状況が明確か」といった観点で課題を抽出し、解決に向けた対策などを確認し、実効性を高めております。

Q：ガス管の老朽化について、対策は取られていますか。

A：都市ガスは LNG 基地からガス導管と呼ばれる配管へ送り出され、高圧・中圧・低圧と圧力を調整されてお客様の敷地に届きます。この導管のうちの多くを占める低圧導管については、新設の際には、土中の水分等によって腐食せず、地震によって破断しにくいという特徴を持つ「ポリエチレン管」が採用されています。また、ポリエチレン管採用前の経年管については、導管の所有者である各ガス事業者によってポリエチレン管への入取替工事が計画され、順次実施されています。当社ではこれらの新設・入取替工事の両方を受注しています。

以上